

浜坂高の生徒増加に向けた取り組みについて活発に議論する参加者
＝27日、新温泉町芦屋の橘会館



浜坂高、魅力向上へ議論

同窓会「橘友会」入学生増に提案や意見

浜坂高（新温泉町芦屋）の同窓会「橘友会」（浜田直子会長）は27日、同校の現状や課題について関係者で議論する「浜高魅力アップ交流会」を校内の橘会館で開いた。町内外から集まった同窓生や地域住民、教育行政関係者ら約40人が学校の活性化に向け、熱く意見を交わした。

状況、入学者の現状などを説明。参加者は、入学生増加のための提案や意見を出し合った。

意見は、浜高魅力アップ交流会の定期開催▽関西、関東の橘友会の活性化や若い卒業生との交流促進▽通信制課程の導入▽コウノトリ追跡調査や温泉研究など町独自の科目―といった自由闊達なアイデアが飛び出した。

ある参加者は、町内児童数が激減する見通しや、来年度から全国公募する鳥取県立高校と近隣私立校との競争激化に言及。「浜高存続のためには、早急に取り組むスピード感と、公立の前例を飛び越えた特化が必要では」と強調した。

西岡優子校長が、本年度から導入した連携型中高一貫教育校の取り組み、公務員就職や国公立大への進学

浜田会長は「地域に根差した浜坂高を守り、人気を取り戻すために同窓会が立ち上がる時。地元の人や卒業生の『何とかしなければ』という強い思いと提案をいただいた」と話した。

（松本妙子）